

学び舎通信 1月号

町内小中学校の情報を毎月お届けします



大小

一人一人の輝きと集団の美
〜鼓笛演奏〜

10月12日の「おおがわら町民学園・健康まつり」に、6年生は「鼓笛隊」に出場しました。この日に向けて「心一つに、一致団結」を合い言葉に、毎朝一生懸命に練習しました。当日は、運動会のような真剣で息の合った演奏や動きができました。一人一人の輝きと集団の美が見られた鼓笛演奏でした。また、「おおがわら音頭」には、運動会で披露した踊りを思い出し、多くの5年生が参加しました。



南小

もがり祭りこしパレード

南小伝統の「もがり祭り」のPRを目的にして、みこしパレードを行いました。5・6年児童が担ぐ手作りのみこしを先頭に、手作りの法被を着た1〜4年生が「ワッショイ！ワッショイ！」と元気よくかけ声をかけながら地域を練り歩きました。チラシと一緒に校内で収穫したサツマイモを配布しながらのパレードは、笑顔いっぱいの大成功で終えることができました。



全小

秋探し

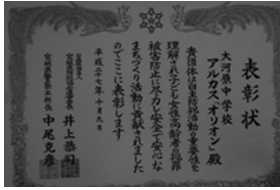
9月30日、秋晴れの中、1年生が高山遊歩道に秋を探しに、虫かごや網を持って出かけました。生活科で使うドングリを拾ったり、ホオノキなどの落ち葉を拾ったり、「コオロギやバッタなどもつかまえました。」日頃学校では味わえない自然探検に児童たちは大はしゃぎでした。今後、拾ったドングリや落ち葉でコマや飾り物を作って遊ぶ予定でいます。この世に一つしかない思いが詰まった手作りおもちゃを作ることで、きつと物を大切に作る気持ちが育つにちがいないと思います。



大中

アルカス「オリオン」表彰

10月9日（金）宮城県防犯協会と宮城県警察本部より生徒会による自主防犯活動「オリオン」が表彰を受けました。長年にわたる生徒の活動が認められたものであります。14日（水）朝、非行防止・犯罪被害防止キャンペーンにも参加し活動しました。



全中

学びの秋 実りの秋

大雨のため延期された、1学年の仙台自主研修が9月30日に実施されました。生徒たちは、自分たちで研修計画を立て公共交通機関を利用し、仙台市科学館をはじめ、七十七銀行金融資料館、仙台縄文の森広場等、仙台市内11施設および仙台育英高校を訪れ学習してきました。日本銀行仙台支店ではお札の偽造防止機能を見て、その工夫や機能の精密さを感じ、宮城県警察署では「ころ見慣れている信号機モデルを見て、その大きさに驚嘆していました。まさに「百聞は一見に如かず」の一日でした。

身近な自然再発見
…人間と共生する昆虫たち…
19「サンバは踊らなくても」

▲テントウムシ
▼テントウムシ
ダマシ

昭和の結婚式では「テントウムシのサンバ」という曲がよく歌われたものです。テントウムシは赤・黒・黄色のカラフルな模様と短い脚で「ヨコマカ歩く姿が可愛らしいので結婚式の盛り上げ役にぴったりでした。でも、今回はサンバのかわりに害虫退治に大活躍する話です。

テントウムシは葉っぱの上で暮らしているのでベジタリアンだと思われませんが、実はバリアリの肉食系です。バラの芽にびっしり付いたアブラムシがテントウムシの大好物です。昭和の結婚式では「テントウムシのサンバ」という曲がよく歌われたものです。テントウムシは赤・黒・黄色のカラフルな模様と短い脚で「ヨコマカ歩く姿が可愛らしいので結婚式の盛り上げ役にぴったりでした。でも、今回はサンバのかわりに害虫退治に大活躍する話です。

テントウムシは葉っぱの上で暮らしているのでベジタリアンだと思われませんが、実はバリアリの肉食系です。バラの芽にびっしり付いたアブラムシがテントウムシの大好物です。

お気の毒な話です。

また、テントウムシとそっくりの悪役テントウムシもいるので要注意です。その正体はナスなどの葉を食べる通帳「テントウムシダマシ」正式にはオオニジユウヤホシテントウムシです。こちらは黒い星が多く、羽につやがないのでよく見分けられます。

テントウムシ全部が人間の味方なら話は簡単なのに、自然界で本当にややくしく出来ているものです。

テントウムシにはいつも苦労さま。ありがとさん。たまにはサンバも踊ってよ。」と労をねぎらってあげたい私です。

次回は害虫つながらず、皆さんのまわりの害虫の話です。

元金小校長、昆虫教室（町教育委員会主催）講師 鈴木健司さん